

【共通の設問】次の傍線部「ながら」を識別せよ。(答え・解説は解答編)

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

Q1.

歩きながら歌ふ。

Q2.

昔ながらの家。

Q3.

子供ながら賢し。

Q4.

泣きながら語る。

Q5.

生まれながらの性 (さが)。

Q6.

知りながら告げず。

Q7.

見ながら涙す。

Q8.

我ながらあさまし。

Q9.

笑ひながら言ふ。

Q10.

女ながら心強し。

Q11.

居ながらにして知る。

Q12.

走りながら叫ぶ。

Q13.

貧しながら清し。

Q14.

立ちながら物言ふ。

Q15.

もとの身ながら。

Q16.

聞きながら書く。

Q17.

老いながらなほ盛んなり。

Q18.

つねながらの月。

Q19.

食ひながら話す。

Q20.

身は賤（いや）しながら心高し。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21.

涙を流しながら祈る。

Q22.

昔ながらの都。

Q23.

心づきなしと思ひながらもてなす。

Q24.

笛吹きながら行く。

Q25.

我が身一つながら。

Q26.

知らぬことながら答ふ。

Q27.

物思ひながら寝（い）ぬ。

Q28.

帝ながらおごり給はず。

Q29.

杖をつきながら歩む。

Q30.

ありしながらの御調度。

Q31.

心に思ひながらえ言はず。

Q32.

うたた寝しながら夢見る。

Q33.

二つながら得たり。

Q34.

賢しながら用ゐられず。

Q35.

舞ひながら袖を返す。

Q36.

もとの姿ながら。

Q37.

罪ありながら許さる。

Q38.

月を見ながら酒飲む。

Q39.

男ながらやさし。

Q40.

涙ながらに語る。

Q41.

ものを言ひながら笑む。

Q42.

老法師ながら力あり。

Q43.

念仏申しながら死ぬ。

Q44.

もとのままながら。

Q45.

知りながら知らぬ顔す。

Q46.

弓引きながら馬を駆る。

Q47.

衣着（き）ながら寝（い）ぬ。

Q48.

心は通ひながら逢はず。

Q49.

うつぶしながら泣く。

Q50.

我が身ながら心になはず。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51.

昔ながらの山ざと。

Q52.

身づから知りながら改めず。

Q53.

歌うたひながら漕ぐ。

Q54.

長柄（ながら）の橋。

Q55.

三つながら失せぬ。

Q56.

病ひながらつとめ仕ふ。

Q57.

ささやきながら過ぐ。

Q58.

起きながらまどろむ。

Q59.

心に染みながら色には出でず。

Q60.

火を灯しながら読む。

Q61.

在りながら亡きがごとし。

Q62.

細々（ほそぼそ）ながら続く。

Q63.

道行きながら歌よむ。

Q64.

われながらつたなし。

Q65.

高き位にありながらおごらず。

Q66.

念じながらこらふ。

Q67.

昔のままながら変はらず。

Q68.

賤しき身ながら志は高し。

Q69.

手をたたきながら笑ふ。

Q70.

居（ゐ）ながら世を知る。

Q71.

痩せながらなほ働く。

Q72.

笛を吹きながら馬に乗る。

Q73.

寝（ね）ながら聞く。

Q74.

才（ざえ）ありながら世に知られず。

Q75.

数珠繰りながら経読む。

Q76.

もとの心ながら。

Q77.

知らぬ人ながら親し。

Q78.

物語しながら夜更かす。

Q79.

五つながらそろふ。

Q80.

いやしき者ながら情けあり。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81.

もみぢ葉を見ながら過ぐ。

Q82.

昔ながらの御簾（みす）かかれり。

Q83.

出家の身ながら世を捨てず。

Q84.

道すがら涙を流しながら帰る。

Q85.

ありし世ながらの心地す。

Q86.

恋しと思ひながら音（おと）もせず。

Q87.

花を手折りながら歌よむ。

Q88.

もとのすがたながら現はる。

Q89.

心には忘れず思ひながら音せぬ人。

Q90.

舟こぎながら遠ざかる。

Q91.

知りながら問ふ。

Q92.

われながら心憂し。

Q93.

月見ながら夜を明かす。

Q94.

心ぐるしと見ながらえ助けず。

Q95.

衣（きぬ）うち着ながら臥（ふ）す。

Q96.

大臣の位にありながら質素なり。

Q97.

経読みながら涙を落とす。

Q98.

もとの所ながら荒れにけり。

Q99.

老いながら世を惜しむ。

Q100.

涙にむせびながら書く。